

令和5年度 第2回八幡地域協議会会議録

日 時 令和5年7月28日(金) 午後6時30分～午後8時20分

場 所 八幡タウンセンター 第3・第4会議室 未定稿

出席者 (委員) 14名

1号委員 池田 義則 土井 礼子 池田 洋 小松 茂
佐々木慶則 佐藤 良平 後藤 正一 阿部 彩人
池田 修 加藤 隆子 御船 浩弥 小野 良文
2号委員 池田 満好 信夫 効次

(事務局) 八幡総合支所長 池田 裕子 支所長補佐 加藤 裕昭、土門 邦廣

傍聴者 1名

議事日程 1 開 会

2 会議録署名委員の氏名

3 報 告

(1) 前回質問の回答について

(2) 第1回地域協議会正副会長合同会議について

(3) 各委員より提出いただいた案件

4 その他

5 閉 会

【協議の概略及びその結果】

第1回地域協議会で出された質問の回答の説明を行う。委員より提案のあったSNSを利用した意見の募集について、実施してよいとの判断を受ける。

また、6月27日(火)に平田総合支所で開催された第1回地域協議会正副会長合同会議の報告を行い、今年度予定していた3総合支所全委員による会議の開催は実施しないこと、それに伴う年間予定計画の変更を了承いただく。

各委員より事前に提出いただいた提案については、一覧表の提示に留め、回答及び意見交換を4回目で行うことを予定していたが、委員から今までの提案や課題の整理も必要との意見が出された。また、過疎計画策定時に行ったグループワークでの全世代からの意見提案の実施検証をすべきとの意見も出された。提案の取り上げ方等についても、様々意見が出されたため、予定していたブレインストーミングを今回は行わず、次回に行うこととした。

1 開 会

○信夫効次副会長

委員全員の出席を確認。協議会の成立をご報告する。

2 会議録署名人指名

池田義則委員より了解いただく。

3 あいさつ

○議長(池田満好 会長)

線状降水帯やゲリラ豪雨による被害が全国的に起こっている。この地域もいつ災害が起こってもおかしくない。千ミリ、2千ミリといった大雨がこの地域で発生した場合、おそらく荒瀬川、日向川の防波堤は持たないものとする。

そのような中で、以前から地域協議会で話題にしている避難場所について、改築される八幡体育館の2階の活用を提案してきた。これから本格的な設計に入るが、地域の安全安心のため十分に話し合っていきたい。

4 報告

報告(1) 前回質問の回答

< 事務局説明 >

○事務局(池田裕子 支所長)

阿部彩人委員より提案のあったSNSを利用した意見の募集の実施については、いかがか。

○池田満好 会長

新しいものは取り入れていきたい。

○事務局(池田裕子 支所長)

SNSを利用した意見集約は、進めさせていただく。

報告(2) 第1回地域協議会正副会長合同会議について

< 事務局説明 >

質問、異議なし

報告(3) 各委員より提出いただいた提案について

< 事務局説明 >

○池田修 委員

私は2期目で、今回の提案事項は絞り込んで提出させていただいたが、これまでの提案に対する市の回答が非常に後ろ向きだと感じている。これまでの提案は、重要な課題提案だと認識いただけたと思うが、結果的には「財源がないのでできない」という回答ばかりだった。7月に草津川の水門近くに山から巨木の桜の木が倒れた際も、土地の所有者が酒田市に相談に行ってもそれ以上進まない。困って相談している人に対し、何も対応がない。この協

議会で提案している升田の玉簾の滝のトイレについても、観光客の利用の関係から洋式トイレに変えてほしいといった要望さえ何年も前からかなっていない。

令和2～3年に過疎計画の住民ワークショップを行っている。その際、若い方から高齢の方まで何人も集まり、いろいろと提案してきている。大切なことはその中で提案されたことが、どれだけ実施されてきたかを検証すべきことだ。そのことを協議会で検証していかないと同じことの繰り返しになる。

平田・松山との3地区の協議会をやるとすれば、「庄内地域をどうしていくか」といった視点で考えていかないといけない。いつまでたっても変わらないのではないか。

○池田満好 会長

これまで積み上げてきた提案は50以上になっている。これまで、実現させたという実感が無い。

○池田修 委員

過疎計画の途中報告で具体的な八幡地域の問題点等が取りあげられているが、この資料では実施されたかどうか分からない。

○池田満好 会長

事務局に、まとめられた資料はないか。

○事務局(土門邦廣)

完成した過疎計画はある。その中には、具体的な話し合いの経緯などは記載されておらず、令和3年度から7年度までの間に、何をやっていくかといった計画が示されている。例えば、八幡地域では防災ラジオの不干渉地域解消(令和7年度まで全地域解消)や、八幡斎場に関して、老朽化により利用していないため撤去(令和3～7年度)、地方独立法人の病院負担事業(診療所への負担)などがある。

○事務局(池田裕子 支所長)

担当課に確認したものはっきり確認できなかった。当時、どのような意見をいただいたかについては、もう一度担当課に確認を取ってみる。意見ごとに何が反映されているかは把握できないが、進捗状況については次回までに確認したい。

ワークショップについて、その時々状況や参加者も変わっているので、今回は委員の皆様が考える今の八幡の現状で話し合い(ブレインストーミング)を行うこととして理解いただきたい。地域の声の本庁に届きにくいということは支所でも感じている。

○池田修 委員

我々だけでなく、職員の中で酒田市を良くしていくことは考えていないのか。南陽市であれば未来課などがあるし、遊佐町では、若い人たちが地元で活躍できる場所を創出するため

の支援を行っている。職員の人たちが若い人と一緒になりグループを作って、若い人たちが外部に流失することを防ぐための協力を職員が一生懸命行っている。酒田市にはそういった人材はいないものか。いろいろ取り組んでいるところが見えにくい。情報発信などがもっと上手にできていれば、今どのようなことを行っているかはっきりする。他の地域から見てちょっと残念に感じている。

○佐々木慶則 委員

昨日、安田バイパスの勉強会があった。会議は、自治会長等の関係者ばかりが対象となり、情報が外部に伝わらない。広報の重要性について発言しようと考えたが、時間がなく発言できなかった。もっと経過を広報などで伝えてほしい。自治会長や関係者だけでなく住民全体に広報として懇切丁寧に情報発信してほしい。

○事務局(加藤裕昭 補佐)

安田バイパスの進捗状況の件は、県に確認を取っている。回答いただいている内容は、現在軟弱地盤対策を実施しており、供用時期については令和7年度を目標にしているとのこと。情報提供については、今まで説明会などは実施しているものの、今後は八幡総合支所を通じて資料等を提供していきたいと、前向き回答をいただいている。

○信夫効次 副会長

これまで提案してきた課題については、様々な内容のものがある。これらについては、いまだ実現していない。やはりこういったものに対し、きちんと市長名で回答が来るようにしてほしい。

今までは市長報告会への提言は2つであったが、市長からそれぞれについて回答いただけるよう、地域協議会としても考えていったらどうか。

○事務局(池田裕子 支所長)

今後はすべての回答を市長名で回答いただきたいとの要望があったが、これまで3つの地域協議会が足並びで市長への報告会案件を提出しており、それについては正副会長会議で話題としていただき、調整いただくようお願いする。

今回委員からいただいた提案については、各課からの回答として取りまとめさせていただきます。

○池田満好 会長

地域協議会は、この地域で困っていることをあげ、変えてもらう、新しくしてもらう他様々な内容があるわけだが、少しでも八幡地域を良くしようと提案している。

市長報告会に提案した案件については、今後は期限を区切って依頼していくことも必要と考えている。

○佐々木慶則 委員

時期を区切って、期限付きで、その期限まで対応いただけない場合は、その理由を報告いただく。そのような対応も必要。途中経過についてきちんと報告いただき、フットワークよく対応いただきたい。

○事務局(池田裕子 支所長)

「地域協議会はどのようなものか」というご質問を何度か頂戴し、ご説明させていただいておりますが、「地域協議会は決して要望会ではない」と考えている。

市長報告会では、地域の声を届けなくてはなりませんし、お願いしたいことについても市長に伝えるべきものと考えますが、この地域協議会でどのような内容を話し合ったか報告する場。地域協議会はもっと前向きに話し合える会になれば良いと思っている。これまでの何十も積みあがった解決していない課題はあるが、そこも踏まえつつ、協議会での話し合いでは「自分たちも頑張るので、このようにならないか」「これだけは頼みたい」などのご意見をいただきたい。

○小松茂 委員

過去の課題については、一度すべて出していただき再度検証したい。検討可能なものとそうでないものを把握しておかないと、我々が提言できない。

○事務局(土門邦廣)

第1回会議に提出した資料が、過去3年のもの。過去全てとなれば、かなりの数になるが、それらすべてを拾い上げ検証していくということか。

○事務局(池田裕子 支所長)

お配りすることは可能だが、過去の課題と今の課題は違うものになっている場合もある。積み重なってきた事実はあるが、果たしてそれを今、委員の皆様へ承知いただくことが、提案が実現しているかを確認する以上の意味があるかどうか。

○小松茂 委員

私が今回取り上げた課題については、以前の提言の中で尻切れになっているものをピックアップした。例えば、デマンドタクシーは、市長が特区を使ったサービスを行っているところもある旨の回答をいただいたが、酒田市はどうかといった部分がない。このように回答がよくわからない部分を再確認していったら良いのではないか。

また、八幡地域の予算で特定のイベントについては予算が削られている。これが妥当なのか。検証できるものは検証し、その中で四捨選択して声を出したら良いのではないか。

○加藤隆子 委員

地域が安全に生活できるようにするための目標を一つと人を誘致して地域が活性化する方

策を一つといったように、目標を定め、ブレインストーミングなどを利用して意見を集約したほうがよいのではないか。役所から提案されるのではなく、自分たちで決めて話し合いをすべきだと思う。

○阿部彩人 委員

八幡地域協議会で話し合われる内容は、今のこと・未来のことやこれからどうしていけば地域が面白くなるか、ワクワクするかもっともっと話し合いたい。ブレインストーミングをととても楽しみにしていたので、次回はそのような会議になれば良い。

○後藤正一 委員

デマンドタクシーなど交通弱者の利便性向上について、地域の皆さんも関心がある。特に、土日でも利用できる方法はないのかなど、そのようなことについて地域協議会で提案したい。

○信夫効次 副会長

そのような課題は、地域協議会だけでなく自治会、議員にとっても共通の課題となっている。デマンドタクシーは平日だけの利用であり、土日は利用できない。土日の行事があったとして、参加したいと思っても交通手段のない方は参加できない。このような問題は、一つの団体だけでなく地域全体で盛り上がり対処していかなければ解決にはいかない。

ここにいらっしゃる方は、様々な団体にも属していると思う。その中で同じ課題を取りあげ協力し合う必要がある。地域課題は一度だけ提出すれば終わりではない。機会を見て何度でも地域課題について提出いただきたい。

5 その他

○事務局(池田裕子 支所長)

令和5年度は、コロナ禍後のイベントのあり方を考え直すとのことで、いくつかの地域のイベントが休止となっている。これら休止のイベントに関して、令和6年度の予算要求に向けての方針が先日示された。このことについて、8月末までに八幡総合支所として考え方をまとめていく必要がある。来年度の予算付けの方針では、「地域から要望がある」ということが大前提となる。今回休止となったイベントは6つある。地域から「これは残してほしい」などご意見があれば、残すように検討していきたい。

今年は6月に良品計画様より主催の「つながる市」を開催、9月10日、10月21～22日には有志による実行委員会によるイベントが鳥海高原家族旅行村で開催されることになっている。今後はどこの団体でも限られた予算、限られた人材となるので、協力し合いイベントを行っていきけるよう、知恵を絞りながら対処していきたい。将来的には、各団体や企業の皆様、地域の方々とも財源や人材等で協力し合い地域の賑わいを作っていきたい。

○佐々木慶則 委員

音楽を直接聞ける機会は少ないので、クラシックコンサートを継続してほしい。

○事務局(池田裕子 支所長)

音楽に関するイベントでは、ALTとして以前に八幡で働いていた、ディーン・マロルドさんが「来年、また八幡でぜひ公演したい」とのことで、実行委員会組織での開催をしたいとの話が上がっている。この事業については、コンサートだけでなく学校での交流や、公益文科大学の学生とも交流を行う予定と聞いている。八幡総合支所で支援を行うことについても検討していきたいと考えている。

○信夫効次 副会長

沖縄東村との交流はどうなっているか。

○事務局(池田裕子 支所長)

交流についても、現在の方向性としては、総合支所が地域振興事業として予算要求できるものと考えている。これまでと同じような実施ができると考えているが、相手側の意向もあるので、今後相手方と詰めていく必要がある。

○佐々木慶則 委員

交流事業というのは継続が一番大切だ。これまでコロナで交流できなかったが、つながりが大切。今後どのようにその交流が広がっていくか期待する。

○阿部彩人 委員

8月6日に、大文字まづりを開催する。YouTubeでご覧いただけるので、ぜひ参加をお願いします。また、大沢地区の山の中に「じゅんさい」が自生する池がある。八幡にはそのような資源もある。参加してみたい方がいらっしゃいましたら、お声がけをお願いします。

6 閉 会

○信夫効次 副会長

本日はいろいろと話し合いいただいた。次回は最終目標に向け話し合いしていきたい。